

No 4	選手強化本部
業務方針	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手強化の全体方針の決定</li> <li>・選手強化全般についてのコンプライアンスチェック</li> <li>・助成金、補助金の適正使用及び処理のチェック</li> <li>・強化事業全体の予算進捗チェック</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアの発掘からトップまでの一貫育成強化体制を構築し、2026 愛知・名古屋アジア競技大会、2028 ロスオリンピック大会、2032 ブリスベンオリンピック大会でのメダル獲得を目指す。その達成のために各事業の効果を検討し評価を行う。</li> </ul>
本部長 橋本 聖子 副本部長 平 眞	横山 幸子      田中 僚一郎      佐橋 朋木

総務委員会	
業務方針	<p><b>1. 総務部会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体ガバナンスコード対応と組織運営の透明性確保</li> <li>・加盟団体の組織基盤強化と運営支援</li> <li>・銃刀法対応—AP500 人枠拡大の継続推進（推薦委員会と協働）</li> </ul> <p><b>2. 財務部会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会経営と経済的自立の推進</li> <li>・ふるさと納税寄付の推進と多様な収入源の財務管理</li> <li>・予算進捗管理と事業費・管理費の適正化</li> </ul> <p><b>3. 広報部会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい HP 運営による入会促進と情報発信</li> <li>・SNS を通した射撃スポーツの魅力向上と社会的認知度向上</li> <li>・情報公開と資料の収集保存</li> </ul> <p><b>4. 国際部会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISSF、ASC での役員・委員活動サポートと国際プレゼンス向上</li> <li>・共生スポーツ理念の国際的推進と政策提案</li> <li>・国際審判育成と国際交流活動の促進（競技運営委員会と協働）</li> </ul> <p><b>5. モダナイズ部会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代システム導入による業務デジタル化の推進</li> <li>・加盟団体の事務負担軽減と会員サービス向上</li> <li>・事務効率化によるコスト削減と業務改善</li> </ul>
<p>委員長 高橋信吾</p> <p>副委員長 横山幸子</p>	<p><b>総務部会</b> 部会長：田口亜希 部会員：田中僚一郎、栗生由紀、穂苅美奈子、小高左起子</p> <p><b>財務部会</b> 部会長：高橋信吾 部会員：大木盛義</p> <p><b>広報部会</b> 部会長：北川和徳 部会員：門間健一、清水栄子、永田千恵、松島愛</p> <p><b>国際部会</b> 部会長：藤井彌 部会員：栗生由紀、三木容子、山下せろな</p> <p><b>モダナイズ部会</b> 部会長：谷川諒 部会員：岡田亜美、深澤佑樹、田上諒</p>

委員会より参事として推薦するもの：谷川諒、清水栄子、永田千恵、田上諒、山下せろな

コンプライアンス委員会	
業務方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンプライアンス推進体制の構築に関する事(インテグリティ教育、コンプライアンス研修の企画・実施)</li> <li>2. 通報相談窓口に関する事(通報相談窓口の運営状況の確認)</li> <li>3. 協会及び加盟団体のガバナンス強化に関する事(加盟団体の書類提出管理、体制整備支援)</li> <li>4. 情報セキュリティ及び個人情報保護に関する事(情報管理ならびに個人情報保護体制の確立)</li> <li>5. ハラスメント防止に関する事(ハラスメント防止研修の企画・実施、防止体制の構築)</li> </ol>
委員長 横山幸子  副委員長 平眞	高橋信吾 穂苅美奈子 加藤志郎(顧問弁護士)

委員会より参事として推薦するもの： なし

No 2	推薦委員会
業務方針	<p>推薦業務の適正化と合理化の推進 必要な法改正の交渉(総務委員会と協働) 新たな銃器の推薦と競技会を模索、</p> <p>1) ニチラネットの新システム導入 ・加盟団体、会員への周知 ・審議案件の合理化 ・登録会員のデータ管理</p> <p>2) AP500 人枠拡大交渉 ・AP 推薦者リストの精度向上 ・AP 枠の効率的な運用</p> <p>3) 推薦業務の見直し ・適正な運用管理 ・発行済みブレッテンの整理</p>
<p>委員長 田中 僚一郎</p> <p>副委員長 三木 容子</p> <p>副委員長 仲本 渚</p>	<p>高橋 信吾 栗山 公秀 高田 義三 藤田 志穂 佐野 嘉信 天野 愛理</p>

委員会より参事として推薦するもの：

栗山 公秀

高田 義三

藤田 志穂

佐野 嘉信

天野 愛理

国スポ委員会	
業務方針	<p>国スポ3巡目を約10年後に控え、国スポの在り方についての検討会が始まっている。基本的には経費の削減と収入の増加を図る方策を考えることになると思われる。このことを念頭に、今後とも国スポの正式競技として残っていくために、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施種目及びスケジュールの見直し 生涯スポーツとしての視点を加味しながら実施種目を精選し、スケジュールのスリム化を図り、前日練習の導入を目指す。</li> <li>2) ファイナル進行の演出の見直し ファイナルが盛り上がるような演出を考え、実施していく。</li> <li>3) 競技施設の見直し なるべくコンパクトな競技施設となるように、地元競技団体・開催自治体実行委員会と誠実な協議を行う。</li> <li>4) イベント事業の導入 射撃体験会等のイベントを実施し、将来の射撃スポーツ発展のための啓発、普及を図る。</li> <li>5) 参加区分の見直し 少年区分の制限年齢範囲の不統一を解消する。</li> <li>6) 競技環境の改善 熱中症対策を明確化し実施できるように働きかける。</li> </ol> <p>を、共通認識として、国スポにおけるライフル射撃競技の改革を推進する。</p>
委員長 平井 宏治  副委員長 三木 容子 松住 英樹	別紙参照

委員会より参事として推薦するもの：野中 英夫、長宗 祐二

国スポ委員変更(案)

2025委員

番号	役 職	氏 名	住所地(所属)
1	委員長 兼 ブロック関係委員(中国)	平井 宏治	広島
2	副委員長 兼 競技運営・ルール担当委員	三木 容子	東京
3	副委員長	松住 英樹	富山
4	C P 種目委員	野中 英夫	奈良(大阪)
5	C P 種目委員	長宗 祐二	埼玉(東京)
6	女子種目委員	松島 愛	東京
7	ブロック関係委員(東北・北海道)兼80回開催地委員	寺澤 良悦	青森
8	ブロック関係委員(関東)兼第86回開催地委員	武川 正一	山梨
9	ブロック関係委員(北信越)	割田 好則	長野
10	ブロック関係委員(東海)	尾崎 和郎	愛知
11	ブロック関係委員(近畿)	高橋 信吾	京都
12	ブロック関係委員(四国)	小川 直人	高知
13	ブロック関係委員(九州)	仲本 渚	沖縄
14	学連関係委員	成山 悟史	大阪
15	高校関係委員	五十嵐 治人	茨城
16	パラ射撃関係委員	粟生 由紀	千葉(東京)
17	マスターズ種目委員	萩原 一孝	静岡
18	競技運営・ルール担当委員		
19	国際審判関係委員	酒寄 貴瀬	千葉
20	後催地委員(第79回 滋賀県)	吉田 義行	滋賀
21	後催地委員(第81回 宮崎県)	川崎 清次	宮崎
22	後催地委員(第82回 長野県)	横沢 聡	長野
23	後催地委員(第83回 群馬県)	岡田 榮三	群馬
24	後催地委員(第84回 島根県)	野津 武志	島根
25	後催地委員(第85回 奈良県)	西田 誠	奈良

2025 年 7 月 1 日付

No 5	選手強化委員会	
業務方針	<p>目的 ロス 2028 オリンピック競技大会でのメダル獲得を目指して、新強化戦略の基に新たな体制で臨む</p> <p>目標 ロス 2028 大会でのメダル獲得、2026 愛知・名古屋アジア競技大会でのメダル獲得</p> <p>選手強化対策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 海外主要大会への派遣及び QP の獲得 【アスリートの育成・支援】</li> <li>② ナショナルコーチの主体による選手強化【アスリートの育成・支援】</li> <li>③ アスリートセンタードを基本とした指導体制（内発的動機による行動） 【アスリートの育成・支援】</li> <li>④ ライフル・ピストル各部会が各々の特性を活かした強化策の実施</li> <li>⑤ ターゲットアスリートを決めて集中強化を行う【アスリートの育成・支援】</li> <li>⑥ 海外強豪拠点国 韓国・中国を中心とした海外練習 【国際交流の促進】</li> <li>⑦ NTCでの強豪国チーム招聘等による合同合宿 【国際交流の促進】</li> <li>⑧ 国内拠点としてのNTC射撃場を主軸にした選手強化【アスリートの育成・支援】</li> <li>⑨ メンタルコーチや医科学的サポートによる競技力向上とコンディショニングの強化 【アスリートの育成・支援】</li> <li>⑩ アスリートの保護及び選手の「人間力向上」と「コンプライアンス強化」、スポーツ・インテグリティの指導 【アスリートの育成・支援】</li> <li>⑪ FTEMによるタレント発掘と一貫指導体制【アスリートの育成・支援】</li> <li>⑫ エリートアカデミーでの選手育成によるトップジュニアアスリート育成とジュニア育成の最新プログラムの作成を行う【アスリートの育成・支援】</li> </ol>	
委員長 佐橋朋木  副委員長 山下敏和 (ライフル担当) 秋山輝吉 (ピストル担当) 田中僚一郎 (発掘担当)	ライフル部会 部会長 キム・ウーヨン	NC キム・ウーヨン キム・ヨングン 源洋子、松本崇志、小笠太志 松岡江里奈、谷川諒、塚田竜規
	ピストル部会 部会長 松田知幸	NC 松田知幸 木田知宏、作本諭寛、高島正樹、 佐藤明子、中西公光、鈴木準、 森栄太、園田吉伸
	医科学情報部会 部会長 枝川 宏	内田繕博、樺島 司、 小野 聡、高橋浩子、能瀬さやか、 酒寄貴瀬、飯塚武人、吉野祐子 柴山恵美子、深川史麻、東進一
	パラリンピック部会 部会長 田中辰美	馬渡 崇、田口亜希、猪坂 桂、野口優太 中重 勝
	エリートアカデミー部会 部会長 佐橋朋木	三木容子、上之園正一、谷川諒、キム・ウーヨン キム・ヨングン
	FTEMタレント発掘部会 部会長 成山悟史	三木容子、三野卓哉、渡部奏乃音

委員会推薦参事：秋山輝吉、松田知幸、キム・ウーヨン、枝川宏、田中辰美、小野聡、木田知宏、中重勝、

No 7	競技運営委員会	
業務方針	<p><b>基本方針：</b>競技運営委員会は、規程に定められた 5 つの業務分担を基盤としながら、「観て楽しめる」「誰もが参加できる」「次世代につながる」競技会の実現を目指す。デジタル技術の活用と国際基準への準拠により、ライフル射撃を魅力的なスポーツとして発展させ、共生社会の実現に貢献する。</p> <p><b>【記録関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協会公認の競技種目及び記録に関する業務</li> <li>日本記録対象種目の整理・見直し（ルール変更対応）</li> <li>記録公認プロセスの適正化とデジタル管理</li> </ul> <p><b>【審判関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフル射撃の規則の制定、改廃及び競技運営規則に関する業務</li> <li>公認審判員認定・養成（若手審判員・TD の育成、国内・ISSF 試合への派遣推進）</li> <li>3 年に一度の資格更新時考査と年 1 回のオンライン審判講習会による資質向上（参加人数の増加、事務局負担軽減、経費削減を目指す）</li> </ul> <p><b>【認定関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検定・認定・射場公認に関する業務</li> <li>次世代光線銃認定の推進</li> <li>光線銃を生涯スポーツとして続けられる環境整備</li> </ul> <p><b>【段級関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>段級審査規程の調査・研究・改廃及び中央段級審査委員会としての業務</li> <li>地方段級審査委員会・委員の承認及び合格者の承認業務</li> <li>段級審査得点基準表の見直し（ルール変更・レベル向上対応）</li> </ul> <p><b>【競技企画関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>G1・G2 競技会の国際基準準拠運営、グレードにあった審判員配置、開催地選定、ALL JAPAN FINAL CUP の継続的発展</li> <li>観て楽しめる大会企画（照準軌跡動画配信、オンライン競技運営システム、SNS 活用）</li> <li>共生競技会の推進（男女混合ファイナル・総合表彰、パラ競技会でのオリパラミックスイベント、年少者・高齢者向け光線銃共生種目）</li> </ul>	
委員長 三木容子	記録部会 部会長 杉崎礼子	谷川諒、山口航平
副委員長	競技運営・審判部会 部会長 岡田亜美	山下せろな、谷川諒、杉崎礼子、江頭龍士郎
田中辰美 (認定・段級)	認定部会 部会長 高島正樹	尾崎和郎、武川正一、田村達、谷川諒
栗生由紀 (競技企画・競技運営)	段級部会 部会長 谷川諒	山下せろな、江頭龍士郎
審判・記録)	競技企画部会 部会長 深澤佑樹	武川正一、高島正樹、田村達、永井良明

委員会より参事として推薦するもの： 杉崎礼子、高島正樹

普及・生涯スポーツ委員会	
業務方針	<p>➤ 指導者育成部会            会員がライフル射撃スポーツを正しく、安全に理解し競技ができるよう、日本スポーツ協会の方針と連動し、資格の仕組みを構築し適正を判断し資格を付与する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R S F 認定コーチ資格の構築</li> <li>・ コーチ資格取得会員の管理</li> <li>・ コーチ資格取得講習会の開催</li> <li>・ コーチ資格更新講習の実施</li> </ul> <p>➤ 普及事業部会            ライフル射撃スポーツの認知度向上を目指し、加盟団体と連携してイベントの企画、運営、サポートを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日ラ主催射撃教室の企画と運営</li> <li>・ 地方での射撃教室のサポート</li> <li>・ 日ラ加盟団体の普及事業の把握</li> </ul> <p>➤ 生涯スポーツ部会            「共生スポーツ」としての地位を確立するため、年齢や性別、障がいの有無に関係なく、ライフル射撃スポーツを楽しむ環境を整え、進学や就職、結婚などによる環境の変化に対しても継続できるよう、関連加盟団体と協力し制度改革の提言を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各加盟団体における課題を共有</li> <li>・ 射撃を継続するために必要な施策を立案し関係する委員会へ提言を行う              高校、大学への進学および就職時の会員継続するための方法など              結婚、出産などによる競技継続が困難な場合の会員継続の方法など</li> </ul>
委員長 成山悟史	<p>▼ 指導者育成部会            部会長：大木盛義            部会員：栗生由紀・富本佳照・木田知宏・平澤卓也</p>
副委員長 大木盛義	<p>▼ 普及事業部会            部会長：栗生由紀            部会員：門間健一・小野広人・渡部 奏乃音・荒本 俊明・清水栄子</p> <p>▼ 生涯スポーツ部会            部会長：出来可也            部会員：マスタース 萩原一孝                      パラ射撃 田口亜希・尾崎和郎・田中辰美                      高校部会 古澤康久・五十嵐治人・松田信義                      学生連盟 小野広人</p>

委員会より参事として推薦するもの：富本佳照・木田知宏・平澤卓也・田中辰美・小野広人

マーケティング委員会	
業務方針	<p>目標:収益基盤の強化・多様化のための戦略立案</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本 eshooting 協会との連携</li> <li>2. ふるさと納税による収入増の施策立案</li> <li>3. スポンサー獲得活動</li> </ol>
<p>委員長 松島 愛</p> <p>副委員長 成瀬 兼人</p>	<p>小田友紀子     有賀 清一</p>

委員会より参事として推薦するもの： 小田友紀子  
(上記委員のうち、参事として推薦する方の氏名を書いてください)